

2月の園だより

2026年2月1日

こぶし保育園

園長 小林 祥子



厳しい寒さが続くこの頃。ひんやりとした空気を肌で感じ、吐く息の白さに「先生見て！息が白いよ」と外で元気に遊ぶ子どもたちが不思議そうに教えてくれます。

私たちは吐息が白くなると余計に寒さを感じますが、子どもたちは寒さよりも不思議さが勝つみたいです。小さな体で季節を感じながら過ごしています。

園内では子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。

また、保育園では鬼退治のための準備が着々と進められています。「鬼が来たら、先生を守るからね」と鬼退治にやる気満々！お言葉に甘えて鬼を退治してもらおうと思います。

また、11月頃に4、5歳児室の前に植えたチューリップの球根に芽が吹きはじめました。

春が静かな足音を立てながら近づいてきたようで、心も気持ちもほっこり！

子どもたちは、今月も冬の遊びや楽しみを見つけながら、元気に過ごしたいと思います。

2025年度、保育園の保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

また、1月最後の土曜日の保護者会にご参加いただきましてありがとうございました。

子どもを真ん中に、保護者・保育園と共に子どもの育ちを育んでいきたいと思いました。

副園長 上田 洋子

2月の予定

3日（火）節分

10日（火）交通安全教室（4・5歳）

（志村警察署員から）

14日（土）運営委員会（10:00～11:30）

11日（水）建国記念日（祝日）

18日（水）入園説明会（2026年度新入園児）

21日（土）保育園であそぼう

（10:30～11:30）

（対象：地域の方）

23日（月）天皇誕生日（祝日）

24日（火）年長児 蓮根小学校

25日（水）避難訓練

25日（水）0歳児健診

*2月7日（土）正面玄関の門扉が開けにくくなっ

ているため修繕予定です（9:00～）

気を付けて出入りお願いいたします。

3月の予定

14日（土）卒園式

18日（水）0歳児健診

19日（木）卒園遠足（5歳児）

24日（火）コーシャハイムと合同

避難訓練

2歳児クラスのエピソード記録

自分で選び、気持ちを切り替えてみる

園庭で遊んでいましたか部屋に戻る時間になったので「ご飯食べにお部屋に戻ろう」と声掛けすると「もうお腹ペコペコ」「今日のご飯なにかな？」と部屋に戻っていく子どもたち。そんな中、保育者が声をかけたことで、水道の水を出し続けたり、走ってはいけない所を走ったりとわざと保育者の注意を引く子どもの姿が見られました。

「まだ遊びたいよね。また明日お庭で遊ぼう」「やだ！まだ遊びたい」保育者が声をかければかける程、部屋に入ることに関心がむけなくなりました。「先生はみんなのご飯の準備をするからお部屋で遊んでくれる？」と声をかけ続け、何とか部屋に入ってくれました。

室内で子どもたちの安全が見守られる所で「まだ外が良かったよね」「もっと走りたかったよね」「三輪車乗りたかったよね」と言葉にならない気持ちを受け止め代弁しながら適度な距離で気持ちが切り替わるのを待ちました。周りの様子を見て少しずつこちらに気持ちが向いたところで「どうする？まだここにいる？一緒に着替える？」「〇〇先生も一緒に着替えたいなあと言っていたよ」と声をかけ、自分から次への行動を選び、決められるようにしました。しかし、すぐには返事がなく、着替えに気持ちは向かない様子が見られました。

暫く様子を見守っていると、自分から着替えを始める子・「一緒に着替えたい」と言葉にして伝えてくる子・保育者に甘えてくる子・声をかけると納得して着替えをする子とひとり一人違った姿が見られました。

保育者は声をかけ続け、無理に行動を促すことよりも、子どもが自分で決めて、次の行動に移れるきっかけを作りながら待つことが大切だと考えます。

待つことにより、子どもの自身が自ら考え次の行動に移すようになっていくと思います。



子どものイヤイヤにどう向き合う？保育士が使っているイヤイヤ期の魔法の言葉は選択肢をあたえること。

「イヤ！」「やらない」「ちがう」1歳～3歳頃に訪れるイヤイヤ期。

毎日の生活の中で、何をすることも時間がかかり、ついイライラしてしまうことがありますよね。

「どう声掛けてもイヤイヤしか言わない」「言うことを聞かせようとして、毎日怒ってしまう」そんなママも多いのではないのでしょうか。

実はこのイヤイヤ、**子どもが成長している証拠**です。

イヤイヤ期の子どもは、**自分で決めたい・でもうまくできない・言葉で気持ちが伝えきれない**という状態にあります。

「やりたい」「いやだ」という気持ちははっきりしているのに、どうすればいいか分からない。だからこそ、**全力で「イヤ！」と表現する**のです。

これは反抗ではなく、**自我が育っている途中の自然の姿**です。

そのためには、「**選択肢をあたえること**」です。

ポイントは①どちらを選んでも大人のOKな選択②子どもが「自分で決めた」と感じられること。

実際に良く使う声掛け例

① 着替えたくないとき

「早く着替えてね」→自分で着る。先生と一緒に着る？

② おかたづけを嫌がる時

「片付けなさい」→赤いおもちゃから片付ける？それとも車からにする？

選択肢は2つまで

選択肢が多いと混乱しますので、どちらを選んでもOKな内容がいいですね。

「やる？やらない？」はNG。やらないことを選ばれると、また対立してしまいます。

どんなに工夫しても、うまくいかない日もあります。

そんな時は、

① 一度距離を取る。②抱っこして落ち着く。③気持ちを代弁する。

「嫌だったね」「やりたくなかったよね」と、まず気持ちを受け止めることも大切です。

保育士も、いつも完璧じゃないですが、ただ一つ共通していることは、「子どもと対立しない形を探す」こと。選択肢をあたえる声掛けを大切にしています。



0歳児保護者子育て奮闘記

落ちていたゴミはゴミ箱へ、着替えた服は洗濯籠へ、食べ終わった食器はシンクの中へ、使ったオモチャはオモチャ箱へ、凄いなーよく見ているな〜と思っていたら、キッチンの下の方の引き出しを足で閉めようとしていました。そこまで見ているの! ?とドキッとしたと同時にフラフラとしながらも足で閉めようとしている姿が面白かったです。

2歳児保護者子育て奮闘記

とにかく電車が大好きな息子。毎日プラレールを沢山出して並べて覚えている駅や車内・ホームのアナウンスを言って電車ごっこを楽しんでいます。

「大きくなったら三田線の新しい電車の運転士さんになる」と夢を語っています。どんな夢でもいいので、本人が本気でやりたいと思うものに突き進んでほしいと思います。そのために親として協力して見守って、日々の成長を楽しんでいこうと思います。